

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 12 日

奈良市長 殿

提出者

住所

大阪府中央区久太郎町2-5-28 久太郎恒和ビル5階

氏名 大末建設株式会社 大阪本店

取締役執行役員本店長 松田 健城

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6121-7160



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	奈良市管轄内事業場
事業場の所在地	奈良市管轄区域内
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	92.00 t	全処理委託料	92.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	17.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	68.50 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 別紙

氏名又は法人名	報告電話番号	担当氏名	電話番号
大木建設株式会社 大阪本店	安全環境部	森 敏夫	06-6121-7160

産業廃棄物の種類	自ら処理した廃棄物に関する事項										委託処理した廃棄物に関する事項					
	中間処理を含む					自ら処理した後の処理委託量					(委託先の区分ごとの処理委託量)					
	自ら発生利用 を行った量	自ら発生及び 処理投入した 量	自ら中間処理 を行った量	自ら中間処理 を行った量	自ら中間処理 を行った量	中間処理後の 残存量	中間処理後の 残存量	中間処理後の 残存量	中間処理後の 残存量	中間処理後の 残存量	再生利用業者 の委託量	認定焼却業者 の委託量	認定焼却以外 の委託業者 の委託量	その他の 中間処理業者 の委託量	増加分業者 の委託量	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1 廃プラスチック類	21.18t						0.00t			21.18t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
2 木くず	36.85t						0.00t			36.85t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
3 ガラスくず等	26.40t						0.00t			26.40t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
4 がれき類	88.50t						0.00t			88.50t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
5 管理型混合燃棄物	45.50t						0.00t			45.50t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
6							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
7							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
8							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
9							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
10							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
11							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
12							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
13							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
14							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
15							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
16							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
17							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
18							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
19							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
20							0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
合計	213.43t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	213.43t	0.00t	141.53t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

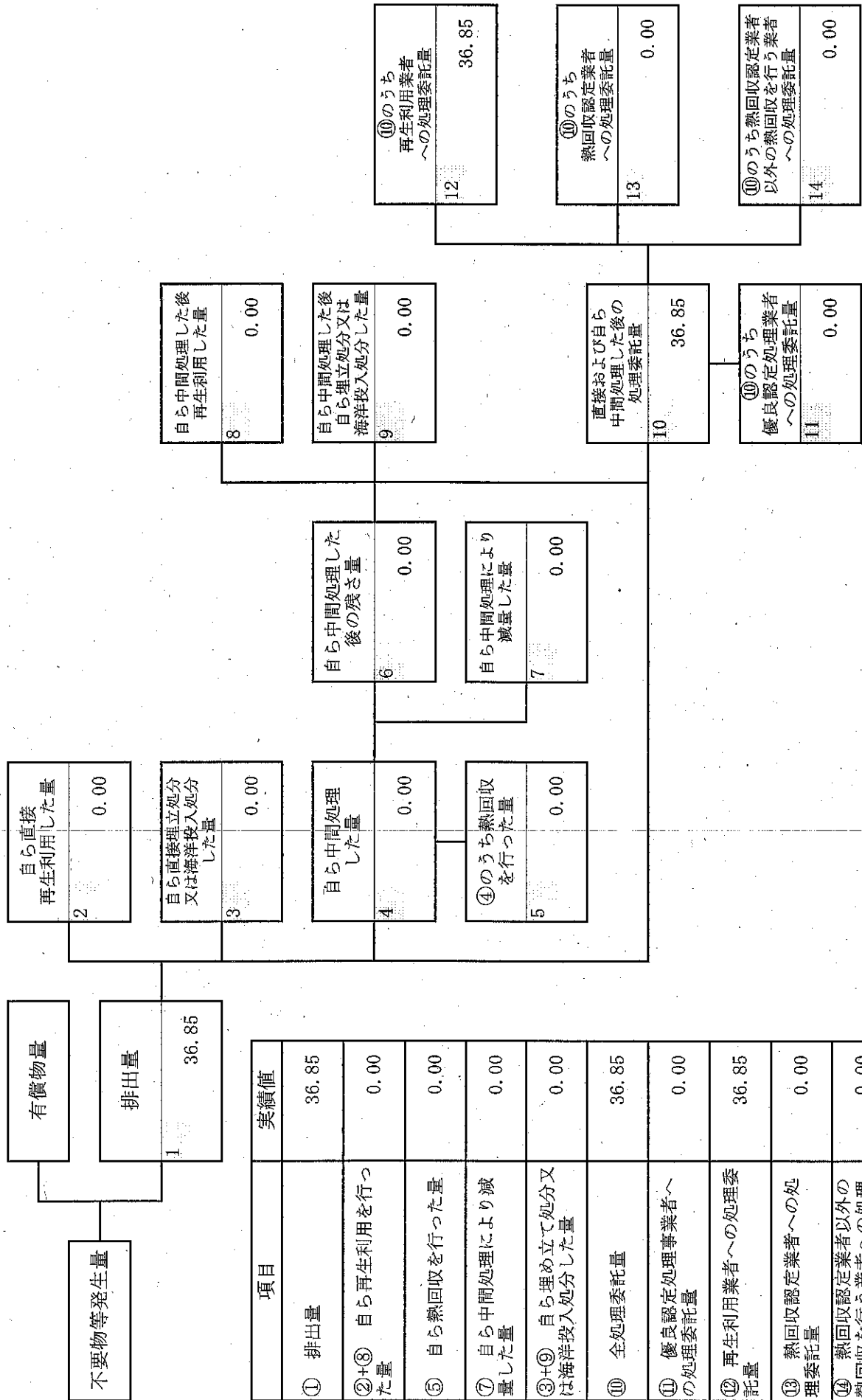
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

不要物等発生量	有償物量		排出量	
	1	21.18	2	0.00
	自ら直接再生利用した量		自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
	3	0.00	4	0.00
	自ら中間処理した量		自ら中間処理した後の残さ量	
	5	0.00	6	0.00
	④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により減量した量	
	7	0.00	8	0.00
	③+⑤ 自ら埋め立て処分又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
	9	0.00	10	0.00
⑩ 全処理委託量	21.18		直接および自ら中間処理した後の処理委託量	
	11	0.00	12	21.18
⑪ 優良認定処理事業者への処理委託量	0.00		⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
	13	0.00	14	0.00
⑫ 再生利用業者への処理委託量	21.18		⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	15	0.00	16	0.00
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00			
	17	0.00		
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00			
	18	0.00		

計画の実施状況

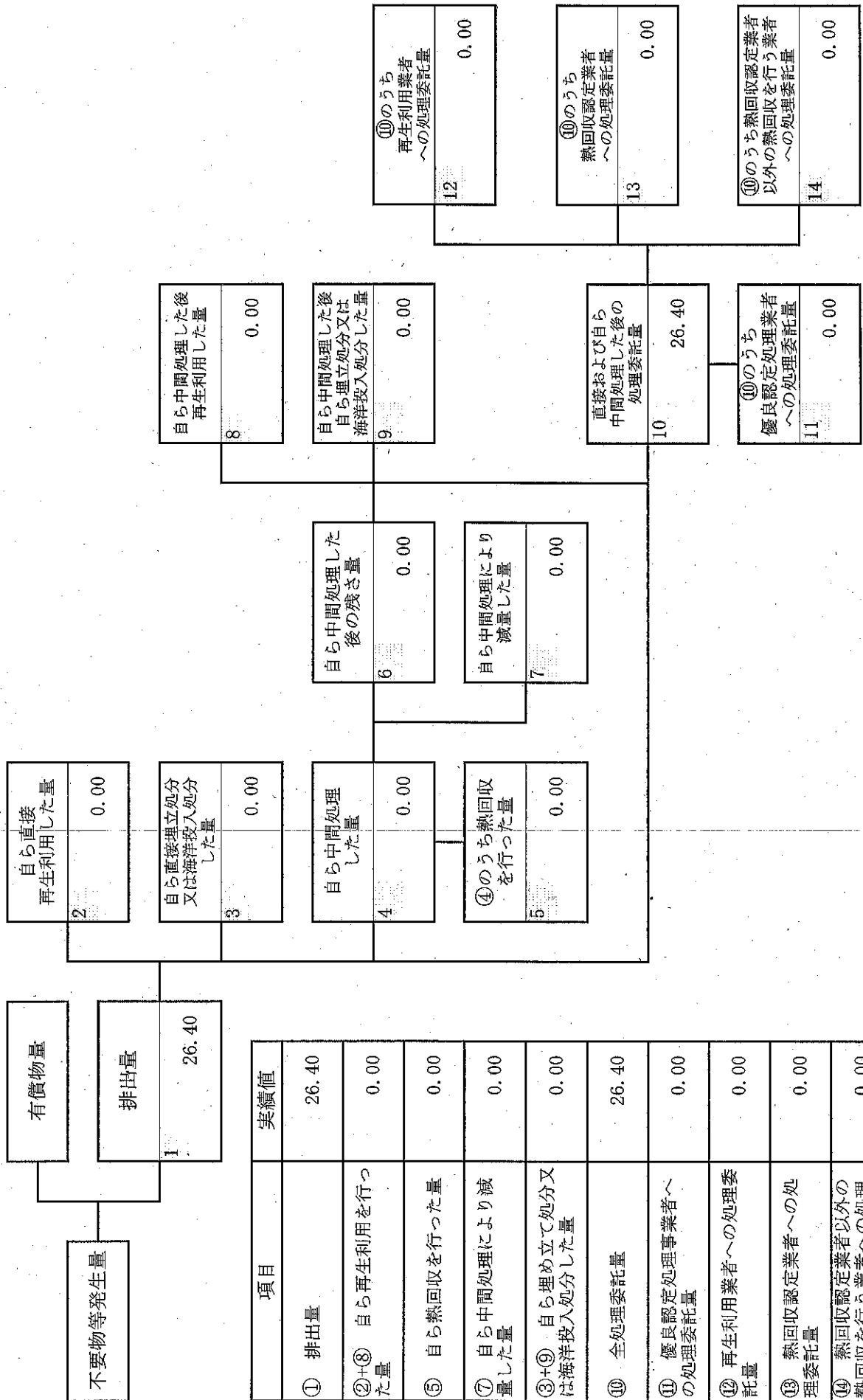
(産業廃棄物の種類： 木くず)



項目	実績値
① 排出量	36.85
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑤+⑦ 自ら埋め立て処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑩ 全処理委託量	36.85
⑪ 優良認定処理事業者への処理委託量	0.00
⑫ 再生利用業者への処理委託量	36.85
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : ガラスくず等)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)

不要物等発生量	有償物量		排出量	自ら直接再生利用した量	
	1	83.50		2	0.00
				自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
	3	0.00		3	0.00
				自ら中間処理した量	
	4	0.00		4	0.00
				自ら中間処理した後の残さ量	
	6	0.00		6	0.00
				④のうち熱回収を行った量	
	5	0.00		5	0.00
				自ら中間処理により減量した量	
	7	0.00		7	0.00
				自ら中間処理した後は海洋投入処分した量	
	9	0.00		9	0.00
				直接および自ら中間処理した後の処理委託量	
	10	83.50		10	83.50
				⑩のうち熱回収認定事業者への処理委託量	
	11	0.00		11	0.00
				⑩のうち再生利用事業者への処理委託量	
	12	83.50		12	83.50
				⑩のうち熱回収認定事業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	14	0.00		14	0.00

項目	実績値
① 排出量	83.50
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨ 自ら埋め立て処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑩ 全処理委託量	83.50
⑪ 優良認定処理事業者への処理委託量	0.00
⑫ 再生利用事業者への処理委託量	83.50
⑬ 熱回収認定事業者への処理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定事業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況が明らかにした書類を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。